

2025年4月1日

## 読売テレビと四国放送がアナウンサー交流で合意 相互の番組出演などを通じてスキルアップを図る

当社と四国放送（徳島県）は、アナウンサーの互いの番組への出演や合同研修等を通じてアナウンサーのスキルアップを図ることに合意し、3月から取り組みを開始しました。

この取り組みは、日本テレビネットワーク協議会（以下 NNS）の連携強化の一環として実施されるもので、ラジオ局を持たない当社のアナウンサーが四国放送のラジオ番組に出演することで、視覚的な情報がない中で声のトーンや抑揚、リズムを使い分けながら、適切かつ効果的に情報や感情を伝える表現力を高めます。また、四国放送は、当社アナウンサーが出演することによる番組の活性化や、当社の研修に参加することによるアナウンサーの向上、およびコンテンツ力の強化を図ります。

初回の取り組みとして3月17日、18日、当社の林マオアナウンサーが四国放送のラジオ番組『となりのラジオ』『バンリク』『ラジオ大福』に出演し、四国放送の福井和美アナウンサー、石井隆智アナウンサー、森本真司アナウンサー、緒方ゆいアナウンサーと共に進行了しました。



『となりのラジオ』放送中の林マオアナウンサー（左）と  
四国放送の福井和美アナウンサー（右）



『バンリク』を進行する林マオアナウンサー（左）と  
四国放送の石井隆智アナウンサー（右）

初めてラジオ番組に出演した林マオアナウンサーは、「音だけで伝える世界で何ができるか試行錯誤する作り手の熱意やアイデアが、ラジオを支えていると感じました。トーク力はもちろん、発想力も磨いていき、今後のテレビ出演にも生かしたいです」と取り組みの効果を語りました。

今後は、四国放送のアナウンサーを当社に招き、当社アナウンサーとの合同研修を通じて相互のスキルアップを図るなど、さまざまな取り組みを行う予定です。

読売テレビは今後も、アナウンサーの協働などを通じてNNSの連携強化に取り組むとともに、魅力的なコンテンツをお届けできるよう努めてまいります。